

京都市文化観光資源保護財団

# 会報

# 75

NO.

1998. 7. 1

もくじ

—寄稿—

「都市民俗学の現場から」

京都市文化市民局文化部 山路興造 P 2  
文化財保護課 参与

「京都の文化財を守る会」の活動

京都の文化財を守る会会長 笹池正二 P 3

—保護財団の活動—

P 4





## 「都市民俗学の現場から」

山路興造

「京都の町家は鰻の寝床というのが、どんな形態なの」とか、「坪庭ってどうゆう風になってるの」とか、胸躍らせて京都にやって来た関東の若い友人からよく聞かれる。もともと江戸っ子の端くれである筆者でも、20年も京都に住んでいれば、それくらいは案内するだろうという思い込みで聞くのである。確かに高級京料理屋あたりに誘えば、その雰囲気は味わえるのだが、こちらの懐が許さない。またほの暗い露地を横目に、奥の座敷に至るちょっとした緊張感や、その座敷から眺める庭の喧噪を離れた凜とした佇まいは、料理屋などではなかなか味わえるとは思えない。

京都は、三方の山麓に点在する神社仏閣やその庭など、各時代の支配者層が、金と閑に任せて築き上げた美意識による文化財を売り物に、確固たる観光イメージを築いてきた。またこれまでの観光客はそれで満足していたし、京都の側でも、京都の生活が生み育てた本当の京都らしさは、自分たちの手中に秘蔵して、一見の観光客などには簡単には見せようとしなかったのである。

修学旅行の学生や、かつてのアンノン族を相手にした時代は、それで十分であったのかも知れない。しかし高学歴の人々が増え、カルチャーセンターで学んだ高年齢の人々が、自分たちの国の歴史や文化を真剣に学ぼうとして旅行に

出る時代である。今までの観光資源に、庶民の内面の文化を観光資源として加えてゆかないと、今度は観光客の側から見放され、外国などに目を移されるばかりである。

京都が全国に発信した文化は、なにも支配者層の生み育てた表層の文化ばかりではない。各地の庶民の生活のなかにも、多くの京都発信の文化は脈々と受け継がれ、今なおその原型が、京都の日常生活のなかに残されている。京都生まれではない私などが、都市民俗学の名の下に、京の町家の生活調査を手がけていると、名所旧跡など従来型の観光資源ではなく、これからの日本人が求める生活実感のある文化へのまなざしに叶った多くの観光資源が、山のようにあるのに驚かされる。私には、京都自身がそのことに気づいていないのではなく、未だに一見の客を見くびっているとしか思えない。そろそろ加工しないありのままの本当の京文化を、一般に公開してもよいのではないか。そのような施設やシステムを、真剣に考える時期が来ているのだと私は考えているのであるが。

(京都市文化市民局文化財保護課参与)



京町家の佇まい



## 「京都の文化財を守る会」の活動

笹池正二

文化財の宝庫として知られる私達の京都。そして今や、世界文化遺産として17の社寺・城が登録されています。点ではなく面としてとらえられる程、世界に誇る文化遺産に恵まれた京都に住む私達は、これらを未来に守り伝えていく義務があると思います。

「京都の文化財を守る会」は、昭和43年(1968)11月3日に結成され、今年30周年を迎えました。現在会員は府下に250名を数えますが、発足から今日まで、全会員が「文化財を愛する」という一念と熱意をもっていたからこそ、30年の長期に亘り結束して活動してこられたと自負しています。

そしてこの「文化財を愛する」心が文化財愛護となり、文化財の研修に励むことにより、その保護運動、美しい環境の保全、保護思想の啓発等々の活動を微力ながら続けてきました。

1200年余の歴史を持つ京都ならではの自主的な組織として、夢と誇りをもってより活発に活動を続けたいと願っています。

研修会・現地見学会・京都の世界文化遺産巡訪、行政区毎の支部独自の活動等々を行なっていますが、活動の一環として、(財)京都市文化観光資源保護財団主催の、未公開寺院の特別公開、修学院離宮の特別参観、文遊回廊「平安京を巡る」「京の町家を訪ねて」等の事業に協力し、当会ボランティア部員が受付・誘導・説明等を



京都の文化財を守る会ボランティア部員の方がおこなう文化財の熱心な説明に聞き入る参加者

行ってきました。

貴重な文化財の公開は、京都が誇るすばらしい文化財の価値を、より多くの人々に知って戴くことにより、愛護思想の啓発は勿論、活用しつつ保護するための重要な事業と思います。

私達会員はこれらの事業に直接お手伝いさせて戴くことにより、「文化財を守る」ための愛護運動に参画し、あわせてより一層の文化財に対する深い理解を得る機会に恵まれたことを喜んでおります。

先人が守り育て伝えてきた文化財は、今も私達の生活の中に生き続けています。次世代の人々に保存継承していくために、私達は郷土愛に結ばれて、文化京都発展のため一人でも多くの人々と共に「京都の文化財を守る」活動を続けてゆきたいと願っています。

(京都の文化財を守る会会長)



## 平成9年度 文化観光資源保護事業助成

平成9年度助成申請のありました78件に対し  
総額6,936万円の助成をおこないました。

## ■四大行事保存及び執行

対象件数 20件 助成金 4,596万円

葵祭行列執行・祇園祭山鉾修理及び行列執行・大文字五山送り火火床整備及び点火執行・時代祭行列執行

## ■文化観光資源保護事業

対象件数 15件 助成金 1,262万円

●建造物の部 7件 436万円  
妙顕寺の釈迦堂修理工事・久昌院の表門解体修理工事・賀茂御祖神社の貴船神社本殿等屋根葺替等修理工事・隣華院の庫裏玄関唐破風屋根葺替工事・金福寺の芭蕉堂（茶室）屋根葺替工事・龍泉庵の表門及び土塀修理工事・安楽寺の本堂壁塗替工事  
●美術工芸品の部 4件 276万円  
金戒光明寺の木造十一面観音菩薩坐像修理・  
（財）奈良屋記念杉本家保存会の絹本着色山水花鳥図屏風修理・檀王法林寺の木造四天王立像（増長天・持国天）修理・常念寺の木造阿弥

陀如来立像修理

●防災施設の部 2件 140万円

（財）冷泉家時雨亭文庫の土蔵（角蔵）屋根葺替工事・悲田院の自動火災報知設備工事

●その他施設の部 2件 410万円

（財）京都古文化保存協会の松毛虫駆除事業・（財）霊山顕彰会の霊山一帯及び各招魂社周辺整備工事

## ■伝統行事芸能の保存及び執行

対象件数 43件 助成金 1,078万円

●行事の部 14件 504万円

嵯峨御松明・雲ヶ畑松上げ・賀茂競馬・烏相撲・藤森駈馬・瑞鑽祭・糺の森流鏑馬・北白川高盛御供・鞍馬竹伐り会・日野裸踊・花背松上げ・鞍馬火祭・広河原松上げ・松尾祭桂川舟渡御

●芸能の部 29件 574万円

蹴鞠・雅楽・六斎念仏（11件）・念佛狂言（4件）・やすらい花（4件）・久多花笠踊・八瀬赦免地踊・松ヶ崎題目踊・修学院紅葉音頭・上賀茂紅葉音頭・鉄仙流白川踊・大原八朔踊・上棟祭

## 史跡専門委員会

去る3月26日、史跡専門委員会を開催し京都市より受託している20か所の史跡などの9年度の保存管理の状況や10年度の取り組みなどについて審議や意見交換がおこなわれました。史跡専門委員は、次の4名の方々です。（敬称略・順不同）

北村四郎 京都大学名誉教授 武居二郎 京都芸術短期大学名誉教授  
尼崎博正 京都芸術短期大学学長 小椋純一 京都精華大学助教授

## 第53回 理事会評議員会

去る4月16日、第53回理事会評議員会を開催し、平成9年度事業報告並びに収支決算、平成10年度事業計画並びに収支予算、役員の一部異動、任期満了に伴う役員の改選の、4議案が審議され、原案のとおり承認議決されました。なお、新任役員の方々は、以下のとおりです。

|                   |                         |                         |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
| 新任役員<br>(敬称略・順不同) | 顧問 今井 敬 (社団法人経済団体連合会会長) | 専務理事 坪倉 譲 (京都市文化市民局長)   |
|                   | 理事 今井久吾 (財団法人日本交通公社会長)  | 理事 秋元 満 (株式会社京都銀行会長)    |
|                   | 理事 中谷佑一 (京都市副市長)        | 評議員 斎藤誠治 (宮内庁京都事務所長)    |
|                   | 評議員 西脇尚一 (京都市会文教消防委員長)  | 評議員 市野瀬浩 (日本新薬株式会社社長)   |
|                   | 評議員 村上仁志 (住友信託銀行株式会社会長) | 評議員 清水 仁 (東京急行電鉄株式会社社長) |

## 平成9年度 伝統行事芸能功労者表彰式・文化観光資源保護協力者感謝状贈呈式

伝統行事芸能の保存、活用に功績のあった方と保護基金に多額のご寄付を寄せていただいた方に表彰、感謝状を贈呈しているもので、昭和45年財団設立以来から行っており、4月16日の第53回役員会後同席上で行ないました。受賞者は次のとおりです。

## ▲伝統行事・芸能功労者9名（順不同／敬称略）

佐伯昌一（西之京瑞鑽神輿保存会）、橋本泰三（梅林寺ジジバイ講保存会）、鷺山博嗣（壬生大念佛講）、笹池重雄（久世六斎念仏保存会）、塩見健三（京都中堂寺六斎会）、上田勝己（壬生六斎保存会）、保司博（社団法人八瀬童子会）、平山一雄（大原伝統文化保存会）、田中作蔵（一乗寺郷土芸能保存会）

## ▲文化観光資源保護協力者（順不同／敬称略）

（団体の部）2件 株式会社一保堂茶舗、  
財団法人伝統文化保存協会

（個人の部）11名 梅原悦子、田坪良次、  
岩佐氏昭、田村芳子、横山政二、清水玉子、  
奥村俊二、米川保清、辻 憲三、池本一夫、  
広岡一



受賞者のみなさん

## 第8回 京の歳時記展 京町家の四季と暮らし

第8回を迎えた当事業は、京都の伝統的な商家の暮らしをテーマに、去る2月7日～3月1日、京都市四条ギャラリーで開催。期間中、3,025人の観賞者を迎え、年中行事・家訓などの資料と工芸品、台所用具、雛飾りなどの実物や商家の店先を復元するなど四季折々の様子を展示し紹介しました。



◀展示会場風景  
千本えんま堂大念仏  
狂言の熱演風景▶



## 第28回 京の郷土芸能まつり

本年も3月14日(土)、京都会館第2ホールにおいて開催しました。

蹴鞠、川上やすらい花、一乗寺八大神社  
剣鉾差し、祇園祭「月鉾祇園囃子」、千本  
えんま堂大念仏狂言、松ヶ崎題目踊・さし  
踊り、小山郷六斎念仏の熱演振りに900人  
の観客はひとときの京情緒を堪能しました。







京の伝統行事芸能（7月～10月）

7月

|        |                 |           |
|--------|-----------------|-----------|
| 15～16日 | 祇園祭宵山・宵々山       | 各 山 鉾 町   |
| 17日    | 〃 山鉾巡行(午前9時～)   | 四条烏丸～新町御池 |
| 19日    | 松尾大社御田祭(午前10時～) | 松 尾 大 社   |

8月

|        |                                                                      |           |
|--------|----------------------------------------------------------------------|-----------|
| 8日     | 鉄仙流白川踊(午後7時～)                                                        | 北白川小学校校庭  |
| 7・14日  | 円覚寺六斎念仏(午後8時～)                                                       | 円 覚 寺     |
| 9日     | 壬生六斎念仏(午後8時頃～)                                                       | 壬 生 寺     |
| 15日    | 千本六斎念仏(午後8時30分頃～)                                                    | 千本えんま堂    |
| 15・16日 | 松ヶ崎題目踊・さし踊                                                           | 涌 泉 寺     |
|        | 15日(午後8時～)・16日(午後9時頃～)                                               |           |
| 16日    | 中堂寺六斎念仏(午後8時30分頃～)                                                   | 壬 生 寺     |
| 16日    | 西方寺六斎念仏(午後9時頃～)                                                      | 西 方 寺     |
| 16日    | 大文字五山送り火                                                             | 各 五 山     |
|        | 大文字(午後8時)・妙法(午後8時10分)・<br>船形(午後8時15分)・左大文字(午後8時15分)・<br>鳥居形(午後8時20分) |           |
| 16日    | 市原ハモハ踊・鉄扇(午後8時～)                                                     | 川島織物社屋広場  |
| 19日    | 上高野念仏供養踊(午後8時～)                                                      | 宝 幢 寺     |
| 22日    | 小山郷六斎念仏(午後8時頃～)                                                      | 上 善 寺     |
| 22・23日 | 桂六斎念仏(午後8時頃～)                                                        | 地 蔵 寺     |
| 23日    | 嵯峨野六斎念仏(午後8時頃～)                                                      | 阿 弥 陀 寺   |
| 24日    | 広河原ヤッサコサイ(午後9時頃～)                                                    | 広河原観音堂    |
| 24日    | 久多花笠踊(午後9時～)                                                         | 志古淵神社     |
| 24・27日 | 修学院紅葉音頭(午後7時～)                                                       | 修学院集会所前広場 |
| 25日    | 吉祥院六斎念仏(午後8時頃～)                                                      | 吉祥院天満宮    |
| 30日    | 梅津六斎念仏(午後7時頃～)                                                       | 梅 宮 大 社   |
| 31日    | 久世六斎念仏(午後8時頃～)                                                       | 蔵王堂光福寺    |
| 31日    | 一乗寺鉄扇(午後8時～)                                                         | 八 大 神 社   |

9月

|    |                |           |
|----|----------------|-----------|
| 1日 | 大原八朔踊(午後8時～)   | 江 文 神 社   |
| 8日 | 上賀茂紅葉音頭(午後8時～) | 上賀茂神社鳥居前  |
| 9日 | 鳥相撲(午前10時～)    | 上 賀 茂 神 社 |

10月

|       |                             |            |
|-------|-----------------------------|------------|
| 1～4日  | 瑞鑽神輿(巡行4日正午～)               | 北野天満宮・同御旅所 |
| 7日    | 北白川高盛御供(午前8時～)              | 北白川天神宮     |
| 9～11日 | 壬生大念仏狂言<br>(午後1時～午後5時30分頃)  | 壬 生 寺      |
| 10日   | 八瀬赦免地踊(午後7時30分～)            | 八瀬天満宮社     |
| 10日   | 梅ヶ畑平岡八満宮剣鉾差し(午<br>後3時30分頃～) | 平 岡 八 満 宮  |
| 11日   | 西院春日神社剣鉾差し<br>(午後1時～)       | 春 日 神 社    |
| 22日   | 時代祭(京都御所正午～)                | 京都御所～平安神宮  |
| 22日   | 鞍馬火祭(午後6時頃～)                | 由 岐 神 社    |
| 25日   | 岩倉火祭(午前2時～午前5時頃)            | 石 座 神 社    |
| 25日   | 嵯峨大念仏狂言(午後1時～)              | 嵯 峨 釈 迦 堂  |

注) ここに取り上げています年中行事や民俗芸能は、京都市内で国指定又は京都市指定・登録及び当財団が保護対象としています無形民俗文化財を紹介しています。

日程の未定のものは、省いております。又、都合により行事日程が変更される場合があります。

※当財団のインターネットホームページで詳しく紹介しています。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kyobunka/gyozi/bunnkazai.html>

「紹介」松上げ行事

松上げは、全国的に分布する柱松行事の一形態とされ、京都市内では洛北の花背、広河原、久多、雲ヶ畑に伝わり、愛宕山への献火行事として、火除け、五穀豊穡を祈願しておこなわれているもので、いずれも京都市登録無形民俗文化財です。

京都市文化財特別公開事業  
「広河原松上げ観賞の夕べ」のご案内

ご紹介しました「広河原松上げ」の観賞事業が、京都市において催されます。

参加申し込みを希望されます方は、申込資格などご確認のうえ、次の要項によりお申し込み下さい。

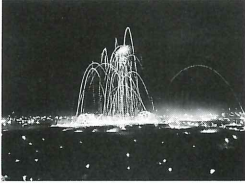
- 日 時 8月24日(月)  
午後3時30分～午後11時30分(予定)
- 内 容 講演「広河原松上げとその周辺」  
講師 山路興造 京都市文化財保護課参与  
会場 京都会館会議場(左・岡崎)  
観賞 広河原松上げ(左京区広河原)  
(現地まで、貸し切りバスで分乗。)
- 申込資格 京都市内在住で18歳以上の方のみ
- 参 加 料 無 料
- 定 員 80名(申し込み多数の場合は、抽選)
- そ の 他 ・帰着時間が、公共交通機関の動いていない  
時間帯となるので、ご注意ください。  
・雨天の場合は、講演と記録映画の鑑賞となります。
- 申込方法 往復はがきによる申込(1通につき1名)
- 往 信 の 裏 「広河原松上げ観賞の夕べ」、住所、  
氏名、年齢、電話番号を記入
- 返 信 の 表 住所、氏名、郵便番号を記入
- 申込締切 7月15日(水)必着
- 申込先及び問い合わせは  
〒604-8571(住所記載不要)  
京都市文化市民局 文化財保護課  
TEL 075-222-4112

花背と広河原(表紙写真掲載)に伝わる松上げ行事は、トロギバと呼ばれる河原に、多数の小さな松明(地松)を竹にさして、一斉に点火し、鉦、太鼓が鳴るなか、直立させた高さ20mのトロ木(檜丸太)の先端にとりつけた大笠めがけて下から上げ松といわれる火をつけた手松明を投げ上げ、点火させるという壮観な火の行事です。

久多宮の町に伝わる松上げも同じく約10mの高さの柱松に手松明を投げ上げるもので、地元では「チャチヤンコ」と称し、地藏盆の行事として行われています。

又、雲ヶ畑に伝わる松上げは、雲ヶ畑出谷町と中畑町の2カ所で行われ、広河原や花背、久多の松上げの形態とは異なり、100束余の真割木の松明を文字の形にして、3m四方の櫓にくくりつけ点火するもので、その文字は毎年異なり、点火されるまで秘密にされています。

- 花 背松上げ／8月15日 午後9時頃
- 久 多松上げ／8月23日 午後8時30分頃
- 雲ヶ畑松上げ／8月24日 午後8時頃
- 広河原松上げ／8月24日 午後8時頃



花背松上げ



久多松上げ



雲ヶ畑松上げ



## 平成10年度 事業計画

## I. 文化観光資源保護事業

- ◆文化観光資源（建造物・美術工芸品・庭園等）の保存修理，防災施設整備等の保護事業に対する助成
- ◆四行大行事，伝統行事，芸能の保存執行に対する助成
- ◆文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成
- ◆文化観光資源の管理  
京都市嵯峨鳥居本町並み保存館の管理運営・京都市管理の史跡等の保存管理業務（20ヵ所）の受託
- ◆文化観光資源に関する調査研究事業  
伝統行事芸能の実態調査及び写真記録・助成対象文化財の実態調査及び資料の収集
- ◆文化財保護行政機関等との協議

## II. 文化観光資源保護思想の啓蒙普及事業

- ◆会報の発行
- ◆文化観光資源に関する印刷物の発行  
文化財カレンダーの発行・「近代京都の名建築」等調査報告書の配布・その他冊子等

の発行及び「京都市文化財ブックス」の受託販売

- ◆文化観光資源公開事業（文遊回廊・文化財特別参観・京の歳時記展・京の郷土芸能まつり）の実施
- ◆インターネットによる国内外への情報発信
- ◆伝統行事芸能功労者並びに文化観光資源保護協力者に対する表彰
- ◆京都市文化財保護普及啓蒙事業の受託
- ◆文化観光資源保護協力者（会員）に対する招待事業等  
京の三大祭（葵祭・祇園祭・時代祭）の観覧・文化観光資源公開事業・文化財カレンダーの配布，出版物の優待頒布・その他文化財関係事業の案内
- ◆文化観光資源保護関係団体等がおこなう各種事業の後援
- ◆報道機関による啓蒙活動の積極的推進

## III. 募金活動

- ◆現会員に対する追加募金の呼びかけ
- ◆市民募金運動の推進として財団がおこなう啓蒙普及事業を通じての新規法人，個人募金の呼びかけ

## インターネットホームページの紹介

当財団のインターネット

▼文遊回廊ヒストリカルトレイルではキャラクターが動くページもあります



▲伝統行事芸能のディレクトリページ

ホームページ「京都—その文化遺産の保存と未来のために—」では、『文遊回廊ヒストリカルトレイル—京の町家と町並みを巡る—』、『京の文化財ウォッチング—京の伝統行事芸能—』や文化財関連のリンク集ページを新たに開設しています。皆様もアクセスしてご利用いただき，ご意見ご希望などお寄せください。

ホームページアドレス <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kyobunka>

Eメール [kyobunka@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:kyobunka@mbox.kyoto-inet.or.jp)

## 文遊回廊「京の町家を訪ねて」

普段一般には，見学出来ない住居とされている伝統的な町家を特別に公開していただき，京都ならではの町家のたたずまいやかつての生活用具，商売道具などを見学していただきます。

## ●「長江家住宅」一般公開

期 間：8月1日(土)～8月20日(木)

(但し，8/14～16は除く)

午前10時～午後4時

対 象：長江家住宅（下・新町通仏光寺上ル）

見学科：一般 400円（中学生以上）

## ●文遊回廊「京の町家を訪ねて」

期 間：8月21日(金)～27日(木)

午前10時～午後4時

(但し，正午～午後1時は除く)

対 象：吉田家住宅（中・新町通六角下ル）

野口家住宅（中・油小路通錦小路下ル）

杉本家住宅（下・綾小路通新町西入ル）

秦家住宅（下・油小路通仏光寺上ル）

長江家住宅（下・新町通仏光寺上ル）

見学科：一般（5ヵ所） 1,500円（中学生以上）

## ●「吉田家住宅」夜の特別公開

日 時：8月21日(金)～8月27日(木)

午後6時～午後9時

(見学受付は午後8時30分まで)

対 象：吉田家住宅（中・新町通六角下ル）

見学科：一般 500円（中学生以上）

※財団会員の方は，ご招待申し上げますので詳しくは，同封のパフレットをご覧ください。



「秦家住宅」玄関



「長江家住宅」台所

## 文化財特別参観「京都の文化財探訪」

京都市内の文化財に親しんでもらおうと，毎年文化財特別参観を開催していますが，本年度からは新たに「京都の文化財探訪」とし，3回開催いたします。なお，財団会員の方は，別に招待状をもってご案内いたします。

■日 時 10月1日(土)～3日(日)3日間

午前10時～午後4時

対 象 金戒光明寺（左京区黒谷町）

光 雲 寺（左京区南禅寺北ノ坊町）

一般の方の参加方法については，財団事務局まで，お問い合わせ下さい。



◀金戒光明寺の三門

光雲寺の庭園▶

■日 時 11月14日(土)～23日(月)

午前10時～午後4時

対 象 霊鑑寺（左京区鹿ヶ谷御所ノ段町）

参加料 一般 500円（期間中入口にて受付）



書院内部の障壁画

# ●●● 京都市嵯峨鳥居本町並み保存館 ●●●

当財団が管理しています京都市嵯峨鳥居本町並み保存館は、明治初期に建てられ、『格子』『むしこ窓』『煙出し』等の表構えに、『おくどさん（かまど）』『井戸』等を復元整備したものです。現在、京都市内の町並みを紹介した写真や模型など、その他解説パネルも展示しており、また、入館者の方々に、京都の旅の思い出や鳥居本保存館などについて、また自身のことなどを自由に書き綴っていただける「京洛散歩」思い出帳も備えています。皆様もぜひ一度、当保存館にお立ち寄りください。

●所在地：右京区嵯峨鳥居本仙翁町8番

TEL 075 (864) 2406

●休館日：月曜日（祝日・振替休日のときは翌日）

12月26日～1月6日

●開館時間：午前10時～午後4時

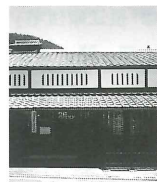
●入館料：無料

●交通案内：

J R 「JR嵯峨野線・嵯峨野嵐山駅」徒歩約30分

市バス 28京都駅前・91四条烏丸・92北大路バスターミナル→「大覚寺」バス停下車徒歩約20分

京都バス 72京都駅・62三条京阪→「鳥居本」バス停下車徒歩約3分



## 会員番号についてのお知らせ

会員管理のシステム化にともない、新たに会員番号を設けさせていただきました。皆様の会員番号は、当会報送付時の宛名に記載しております番号となります。今後、事業などのお申し込みやお問い合わせなどの際には、お名前、ご住所とともに会員番号をお申出下さい。

## 京の文化遺産を守りましょう

皆様から寄せられています募金は、保護基金として文化財の保護や普及啓発事業に充てられています。会員の方からの追加募金や、新しい会員の方の呼び掛けにも一層のご支援とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

## 編 集 後 記



◆本号では、現在京都の町家の生活調査をすすめておられます京都市文化財保護課参与の山路興造氏と、長年にわたり京都の文化財を守るための市民活動を続けておられます京都の文化財を守る会会長の笹池正二氏からご寄稿を寄せていただきました。

当会報をご一覧いただき、京都の文化財や観光資源に対する理解と認識を深めていただくうえでの一助となれば幸いです。

◆初夏を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。当財団では、ご承知のとおり深泥池をはじめ20カ所の史跡などの管理に努めています。

自然に包まれた各史跡などをお訪ねいただき、京都の歴史や文化に接しられてはいかがでしょうか。

## 刊行物のご紹介

- ◆京都の六斎念仏 (会員送料無料) ￥3,150
- ◆京都のやすらい花 ( " ) ￥1,575
- ◆近代京都の名建築 ( " ) 会員割引 ￥1,800  
一般料金 ￥2,100

- ◆京都市文化財ブックス (すべて送料別)
- 第7集 『近世の京都画壇—画家と作品—』 ￥1,000
- 第9集 『京の名勝—その価値と変遷—』 ￥1,300
- 第11集 『京都近世の肖像画—市内肖像画調査報告書—』 ￥1,300
- 第12集 『久多の山村生活用具』 ￥1,300

### ◆「会報」既刊号の配布

当会報既刊号（希望部数は10種類まで送料無料）

### ◇史跡パンフレットの配布（送料のみ切手で必要）

「名勝 雙ヶ岡」・「史跡 御土居」・「史跡 天皇の杜」・「天然記念物 深泥池」

（希望部数／1種は120円分・4種は160円分の切手送付）

【◆印はお電話で◆印は郵送でお申し込み下さい。】

会 報 No. 75

1998. 7. 1

会 報 題 字／理事長 上山善紀

会 報 表 紙／広河原松上げ

編集・発行／財団法人京都市文化観光資源保護財団

京都市左京区岡崎最勝寺町京都都会館内

〒606-8342 TEL 075 (752) 0235

FAX 075 (752) 0236